



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。(聖書より)

巻頭言「子どものころに寄り添って」

NPO 法人 NCM ジャパン理事 北藤典也

2024 年度も終わりに近づき、1 年を振り返って見ると、様々なニュースがありました。

あえて個々の話題には触れませんが、私たち大人にとってもころをざわつかせるニュースが多かったように感じます。

もちろんそれは子どもたちにとっても同じか、それ以上に鋭くころをざわつかせているのかもしれない。

先日、昨年 2024 年の自殺した人は全体で 2 万 268 人と過去最少の水準となった一方で、児童・生徒は 527 人にのぼり、これまでで最も多くなったとの報道がありました。

子どもたちの家庭や学校での悩みは年を追うごとに複雑化しており、



その”ころ”に寄り添う周囲の大人たちの姿勢が求められています。

私たち NCM ジャパンも、おむすび食堂やコンパッションデイ（物資支援）など各種活動を通じて、家庭や学校とは違う、第 3 の居場所づくりを進めています。みなさんの周りにも、悩んでいる子どもがいると思います。そのころにいつでも寄り添えるよう準備しておくのは、周囲の私たちの務めでもあると思います。



今号の内容

- ・島活プロジェクト概要
- ・夏の島活プロジェクト福祉賞受賞
- ・コンパッション・デイ
- ・国際支援活動
- ・会員募集

●島活プロジェクト ～概要～

利尻・京都島活プロジェクト(以下、「本プロジェクト」)は、「多くの子どもたちが利尻 島の雄大な自然に触れることで環境問題に対する意識を育むと同時に、利尻島を第二の故郷と感じてほしい」という想いのもと 2021 年に立ち上げられたプロジェクトです。

本プロジェクトは子ども会の活動の一環として実施している学生主導のプロジェクトという特徴があります。

NPO 法人 NCM ジャパンと協働している「花園教会水族館」(以下水族館)と花園ジョイフル子ども会(以下子ども会)の活動のうち、子ども会の活動に関わっていた市倉慎吾氏が本プロジェクトの発起人となりました。

2021 年 8 月に子ども 2 名を引率のうえで利尻島を初訪問。

そして現地の漁師さんやそのご家族との交流を果たし、島の**第一次産業や環境問題**について学びました。

続く 2022 年 8 月には子ども 3 名引率の上で利尻島を再訪し、現地の個人塾「あそびどころ」にて利尻島の子どもたちとも交流を深めました。

2023 年から 2024 年にかけては、3 度目となる利尻島訪問の計画と並行して、京都と利尻島を結ぶオンライン交流会を 2023 年 1 月より定期的に実施。そして 2024 年 1 月に本プロジェクト初となる冬季の利尻島訪問を行いました。

2024 年は、これまでの文化交流という目的に加え、**利尻島での自然保護活動も目標として定め、利尻島の子どもたちに自然への興味を持ってもらう、というのが当面の目標**です。

詳しくは見開きページにて！ 報告書はこちらから閲覧頂けます。

<https://www.ncmjapan.org/rishiri2024s.pdf>



～夏の島活プロジェクト 第4回～

～過疎地域の子どもの実態調査～

国定公園にも指定されている利尻島ですがそこに住む子どもたちは意外と思われるかもしれませんが、**自然に触れる機会がありません。**川や海が「危険なので子どもだけで入ってはいけない場所」とされていること、水族館や動物園が島内にないため交通費などの面で子どもだけでは訪れるのが難しいことなどが原因だと考えられます。また漁師の方が多い地域であるため、魚などは生き物として触れ合う対象ではなく食べ物としての印象が強いそうです。実はこれは利尻島に限った事ではなく、過疎地域でも自然が豊かであっても**生活スタイルや共働き等で、子どもを施設に預ける事が多くなり、危機管理の点から子どもだけで遊ぶ機会は失われています。**これは**長期的に考えると自然との繋がりが深い第一次産業の後継問題や環境保全、過疎化による鳥獣被害の拡大にも大きく影響していきます。**そのような中で今回の島活プロジェクトは、子どもたちとの交流と自然探索が中心でした。子どもたちとの交流においては、京都より参加した自然や生き物大好きな小学生が利尻の子どもたちとお互いに沢山話したり、地域の違いを見つけたりして、大変刺激のある交流を持つ事が出来ました。都会・過疎地の子ども同士の交流は様々な化学反応を起こしてくれるでしょう。今回できた繋がりを今後にも生かしていきたいです。

立命館大学 山内理菜



生態調査については花園教会水族館さまのHPを閲覧ください。



利尻町教育長兼利尻町立博物館館長：宮道氏との協議



京都の子どもと利尻島の子どもたちの交流



自然豊かに見える利尻島も外来種問題も深刻になりつつあるが、過疎化によってほとんど調査は進んでいない実態がある。また天然昆布も段々と取れなくなっている。都会に住む人たちは第一次産業に支えられているがこの実態を知らない。未来ある子どもに私たちができる事はなんだろう。

～京都事務所が京都新聞福祉賞受賞～



2024年度の受賞者(2025年1月27日・贈呈式 京都新聞文化ホール)



NCM ジャパン副代表で京都事務所代表の篠澤俊一郎牧師がこの度、第60周年記念京都新聞福祉賞を受賞しました。京都新聞福祉賞とは？

24年度、京都府・滋賀県で地域福祉の向上に著しい功績のあった個人または団体に「福祉賞」が授与されます。その個人として篠澤俊一郎牧師が選出されました。

＜福祉賞受賞スピーチ全文＞

まずはこのような名誉ある賞を受賞する事ができ心から感謝申し上げます。福祉賞は、私個人としてではなく、活動に携わる子ども達と共に頂いた賞だと感じています。この度の受賞に子ども達も本当に喜んでくれました！この15年間、子どもと共に成長してきた活動や水族館。振り返ってみると活動においては子どもからも教えられたことも多くそして、子ども達とよく話し合ってきた活動だと思います。特に子ども支援は1年や2年ではほとんど結果が見えず、10年スパンでやっと芽がでる活動だと私は考えています。そして何が正解なのかもわからない活動です。これまでの15年間を振り返ってみると、活動へ協力や感謝ではなく、特に1人親世帯においては、自分が頑張られている事もあり、私どもの活動を子ども達が自宅で喜んで話すと、逆に自分が責められているように感じられる事もあるようで、活動を妨害されたり、中傷される事も多々ありました。そのような誤解を解くために丁寧に根気強く説明したりするものの、私自身も子育てをしている親でもあり、どうして他人の子どもの為にここまでしないといけないのか？と自分の活動がよくわからなくなる時期もあったり、ひとり悩み天を仰ぐこともありましたが、15年が過ぎて思う事は子ども達も成長して小学生から大学生そして社会人へと成長していく姿を見ると彼らの人生に少しでもより添える事が出来た事を誇りに思いますし、またこの福祉賞という名誉ある賞を受賞させて頂いた事で、今までの様々な道のりにも意味があったのだと感じています。特にこの度の受賞において、特に評価くださった食術支援。食術支援は子ども食堂とは違い、子どもが自分たちで食材を調達し、自分たちで献立、調理、多くの人たちをもてなすという特徴を持っています。現在この活動も子ども達が一人ひとり責任をもって自発的に行っています。そしてこの責任は先輩の姿を見て後輩に受け継がれていく。これは水族館の活動も同じです。大人はその枠組みだけを作るだけあとは、子ども達がそれをしっかり自分たちでアイディアを出し合い、そして自分たちでより良いものとしていく。子ども支援にはこのようなあり方が必要なのだと感じています。ネグレクトや虐待する家庭の親ほど子どもをコントロールしようとし、ですが子どもに必要なのは彼ら自身で選択できる場を提供し、助けが必要な時に助け、世界はあなたが思っているよりも広く深く可能性にみちているという事を子ども達に伝えていく事こそが、子どもに対しての大人の役割だと感じています。これからもこの福祉賞受賞に恥じないように牧師・教会としてまた水族館・NPOとして、子ども達に少しでも合いの手を差し伸べる事が出来るように活動してまいります。この度は誠にありがとうございました。

●NCM の24年度の支援活動と国際支援活動



島活プロジェクトと共に今年も食術支援・おむすび食堂・居場所支援・学習支援などの活動を行い、京都生協様や王将フードサービス様より物資の提供を受け困窮世帯への物資支援「コンパッションデイ」など、多岐に渡り活動を行いました。



24年5月、韓国 NCM がナザレン教会と共に取り組んでいるフードバンク活動を実際に渡韓し、視察させていただきました。

政府や企業とのタイアップしている先進的な支援活動の姿を知る事が出来ました。

活動の原動力は賛助会員です！

NCM ジャパンの活動：

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しくお願いいたします。

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

お申込み方法

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい
NCM ジャパン事務局

・メール ncmjapan.ncm@gmail.com

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行

【口座番号】00190-8-421766

【名義】トクヒエヌシーエムジャパン

●他の金融機関

【店名】019(ゼロイチク)

【店番】019

【預金種目】当座預金

【口座番号】0421766(※末尾の1は不要)

発行者：特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証：2015 年 6 月 4 日)

代表理事：篠澤忠俊

東京事務所 東京都中野区弥生町 2-39-11

京都事務所 京都市右京区太秦安井辻ノ内町 10 番地 1 号

メール：ncmjapan.ncm@gmail.com

HP：<https://www.ncmjapan.org/> SNS:Twitter @ncmjapan